

第14回 富士山一周360度眺望ウォーク・レポート

2024年10月2日 道の駅なるさわ～鳴沢溶岩樹型～道の駅かつやま
～富士御室浅間神社～八木崎公園～大池公園

噴火による溶岩流が作り出した溶岩樹型(樹木が溶岩に飲み込まれ燃え尽きた樹木の跡が穴となって残る現象)の見学・学習、信仰登山者に頼られていた二合目にあった御室神社が移されたここ富士御室浅間神社の見学・学習がメインでした。朝方は顔を見せていた富士山も昼前には、雲の中に隠れてしまいましたが、青く映し出された河口湖湖畔を歩く爽快さに満足していただいたようでした。

高速道路から望むMt.富士山



昼食場所の『道の駅かつやま』にて

溶岩樹型の説明を熱心に聞く参加者



富士御室浅間神社(里宮に参拝)

溶岩樹型見学中



ゴールの大池公園のレストハウスにて

帰りの車中ほっと一息

あとがき: 富士山の噴火活動が作り出した神秘の世界。その造られた自然に順能してきた人々の生活、それは神の存在を知らしめる古代からの習わしでした。手を合わせお祈りをするという真の人間の姿を自分に映された様な今回のウォーキングでした。今回の参加者スタッフ含めて36名全員無事に横浜駅に戻ることができ、感謝・感謝です。(記: 高橋)

🚌 次回11月6日 (最終回)